

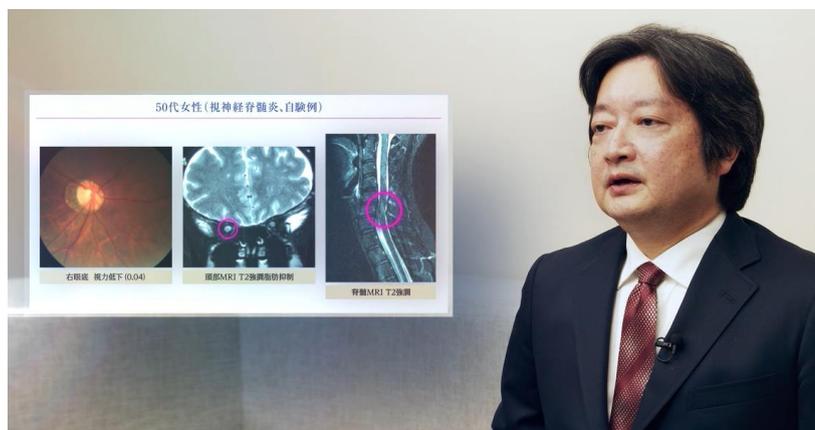
視神経脊髄炎スペクトラム障害 診断解説動画のご案内

拝啓

先生方におかれましては、この災禍にあつてご苦勞も多いことと拝察いたします。弊社では、コンパクトかつタイムリーに最新疾患情報をお届けできるよう、2020年7月3日より動画配信をスタート、継続的に情報を更新しています。5分程度の動画となっておりますので、診療の合間に、何卒ご視聴の程お願い申し上げます。一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

敬具

視神経脊髄炎の新常識 【第2回】早期抗体検査の意義とポイント <5分程度>



■ご出演 毛塚 剛司 先生

毛塚眼科医院 理事長／東京医科大学臨床医学系眼科学分野 兼任教授

- 概要 NMOSD（視神経脊髄炎スペクトラム障害）は失明にもなりかねない患者QOLを著しく損なう疾患です。本コンテンツでは「視神経炎」と「脊髄炎」のうち、特に「抗AQP4抗体陽性視神経炎」にフォーカスして、診断フローチャートを紹介。眼科と神経内科の医療連携のポイントを解説いたします。

■視聴ポイント

- 【1:40～】抗体検査の結果到着には時間がかかり、結果(陽性・陰性)により患者の治療方針が変わる。特発性視神経炎では、NMOSDを疑い、初診時に全例、抗AQP4抗体(ELISA)検査を依頼するとスムーズな診断と治療に繋がる。眼科医はステロイド治療開始時点で神経内科にお声かけしておくことをお勧めする。
- 【3:14～】患者を見逃さないために、ELISA法の偽陰性に注意が必要である。抗AQP4抗体(ELISA)陰性時かつ臨床症状と矛盾するときは、抗AQP4抗体(ELISA)の再測定を推奨する。抗AQP4抗体CBA法や抗MOG抗体も手段の一つかもしれない。

■視聴方法

下記QRコードを読み込むか、検索サイトにてワード検索をお願いいたします。



コスミック 専門医レクチャー

検索

動画補足) 抗AQP4抗体の複数回測定における保険適用

令和2年度診療報酬改定（令和2年3月5日）に基づき作成

保険点数：1000点

抗アクアポリン4抗体は、E L I S A法により視神経脊髄炎の診断（治療効果判定を除く。）を目的として測定した場合に算定できる。なお、**当該検査の結果は陰性であったが、臨床症状・検査所見等の変化を踏まえ、視神経脊髄炎が強く疑われる患者に対して、疾患の診断を行う必要があり、当該検査を再度実施した場合においても算定できる。**ただし、この場合、前回の検査実施日及び検査を再度実施する医学的な必要性について診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

コスミックコーポレーションにて取り扱う受託測定項目

検査項目	検体種	検体量（μL）	報告日数	測定料（税抜）
抗gAChR抗体	血清	500	25営業日	35,000円
抗AQP4抗体CBA法	血清	500	15営業日	25,000円
抗MOG抗体CBA法	血清	500	15営業日	24,000円
抗LGI1抗体	血清又は髄液	500	15営業日	27,000円
抗CASPR2抗体	血清又は髄液	500	15営業日	23,000円
抗LGI1抗体+抗CASPR2抗体	血清又は髄液	500	15営業日	40,000円
抗SRP抗体	血清	100	15営業日	18,000円
抗HMGR抗体	血清	100	15営業日	20,000円
抗SRP抗体+抗HMGR抗体	血清	100	15営業日	28,000円

こちらの一覧は研究用試薬のため、検査結果を診断に使用することはできません。また保険請求することもできません。

検査の詳細、お申し込みは

コスミック 受託測定

検索